

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業評価シート						平成 29 年度事後評価・決算		所管課		健康管理課		担当班	支援班			
事務事業名		コード	19200	育児支援事業		予算科目		会計		款	項	目	事業種別	☒ 主な事業（重点施策）重2		
						一般				4	1	3		☐ 国土強靱化地域計画		
施策体系	基本施策	7		子育て支援の充実		根拠法令	母子保健法、食育基本法、地域保健法等									
	施策の展開	15		結婚・子育て環境の整備		戦略事業	71	育児支援事業								
施策の展開						戦略事業										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	安心して育児に取り組めるよう、相談支援体制を整え（妊娠・出産・子育て～思春期までの“各種学級、教室及び相談”を開催）、育児不安の軽減を図り、育児の仲間づくりを支援する。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
母子保健法や各種計画に基づき、合併以前から各育児支援事業が実施されていた。合併後には、1市3町で実施していた育児支援事業の内容の統一を図り、実施している。	少子化・核家族化・地域との繋がり希薄化が進み、またインターネット等で情報が簡単に手に入る時代となり、育児不安を抱えている方が多い傾向にある。その中で専門的かつ継続的な支援が出来るよう育児支援事業を実施していく必要がある。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
各種学級、教室及び相談の参加者より、「よかった」「安心した」「また利用したい」「継続して欲しい」といった肯定的な意見が多く聞かれている。また、子育て学級参加者においては、その後自主的育児サークル結成に至る経緯もあり、仲間作りを希望している方も多い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位:千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.臨時雇賃金	1,003	心理相談員・言語聴覚士、保育士、歯科衛生士、助産師、保健師への賃金	1,020	1,096	1,066	1,003	1,297
2.委託料	228	心理相談員派遣委託料	278	220	220	228	256
3.消耗品費	201	各育児支援事業の指導用教材費、調理実習費	228	180	231	201	189
4.報酬	138	保健事業嘱託医	138	138	138	138	138
5.その他	20	両親学級・子育て学級通知用ハガキ、発達相談・育児相談通知	39	81	34	20	41
② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位:千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.国庫支出金	0						
2.都道府県支出金	0						
3.地方債	0						
4.その他	0						
事業費		事業費計(A)	1,703	1,715	1,689	1,590	1,921
財源	1.国庫支出金	千円		1,712			
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円		3			
	5.一般財源	千円	1,703	0	1,689	1,590	1,921
前年度増減理由		両親学級が1コースあたりの回数が4回から3回へ1回減っているため、事業費は減小している					
従事職員数		常時	7人	最大		人	× 日 = 延べ 0 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

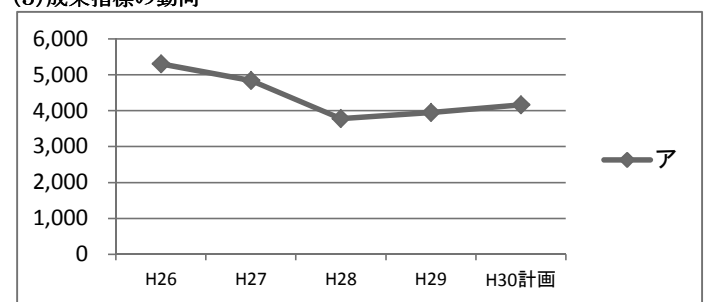
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動)							
手段	① 両親学級 ② 子育て学級 ③ 離乳食教室 ④ 育児相談 ⑤ 発達相談 ⑥ 歯科相談 ⑦ 親子遊び教室 ⑧ 巡回歯磨き教室 ⑨ 赤ちゃんふれあい体験 ⑩ 母子保健訪問指導・面接・電話相談 ⑪ 育児サークル育成支援(自主サークル・多児・小さく生まれたお子様や病児の交流会) ⑫ 歯科健康教育 ⑬ 母乳相談	育児の仲間づくり支援事業延べ実施回数(両親学級、子育て学級、離乳食教室、親子遊び教室、赤ちゃんふれあい体験、育児サークル実施回数)	回	305	254	174	170	171
		相談件数(育児相談、発達相談、歯科相談、面接・電話相談延べ件数、母乳相談)	件	1,989	2,054	2,429	1,919	1,725
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図							
目的	乳幼児と保護者	育児の仲間づくり支援事業延べ参加者数(両親学級、子育て学級、離乳食教室、親子遊び教室、赤ちゃんふれあい体験、育児サークル参加者数)	人	5,306	4,838	3,781	3,949	4,164
	育児不安の軽減が図れる様、仲間作りが出来る							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
				④
施策貢献度	普通			
施策貢献度	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位1/3	中位1/3	上位1/3
評価結果	②			
評価結果	③			
評価結果	④⑤	(4)		
評価結果	⑥			
評価結果	⑦⑧			
評価結果	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況 【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	☐完了 ☒順調 ☐概ね順調 ☐停滞 ☐実施困難												
	② 成果の状況 【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標A 成果指標イ	成果指標 のタイプ	☒数値増＝成果向上	☒向上	☐横ばい	☐低下	成果 比較 ア イ	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30計画	
				☐向上	☐横ばい	☐低下			42	△468	△1,057	168	215	
	③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の 方向性	☒拡大 ☐縮小	☐現状維持 ☐廃止・休止	☐見直し ☐その他()					
	H30年4月～	産後の育児不安に対応し、母乳育児支援を推進する。月1回へ母乳相談を回数増加し、相談できる体制を整え支援する。				H30年度	産後の育児不安軽減のため、月1回母乳相談実施し相談できるようにする。							